

# 9月の園だより



令和8年9月1日  
足立区立おおやたこども園  
TEL 3620-7591  
園長 中山 清子

## 園の教育目標

☆かんじるころ  
☆かかわるよろこび  
☆やりぬくつよさ

## ☆ 行事予定 ☆

| 9月     |                             |
|--------|-----------------------------|
| 1日(火)  | 始業式<br>(4・5歳短時間利用児11:45降園)  |
| 9日(水)  | 避難訓練                        |
| 10日(木) | 安全指導                        |
| 17日(木) | 園内研修<br>(4・5歳短時間利用児13:00降園) |
| 18日(金) | 誕生会(4・5歳児)                  |
| 25日(金) | プール遊び終わり                    |
| 29日(火) | 運動会予行                       |

- ・誕生会はお子さんの誕生日に合わせて随時行います。
- ・身体測定…15日前後に行います。
- ・マイ保育園…3日(火)、15日(火)

## < 保護者給食体験 >



園の給食の味や給食の様子を知ることができます。  
事前申し込み制です。限られた日数のなかで、多くの方に体験していただきたいので、一家庭一食、年一回でお願いします。

○ 日にち: 9月8日(火) 申込締切: 9月3日(木)まで  
希望される方は、職員までお知らせください。

- ※ 1食 250円(給食体験の当日にお持ちください)
- ※ 4名まで申し込みができます。

| 10月    |                           |
|--------|---------------------------|
| 1日(木)  | 都民の日<br>(4・5歳短時間利用児休み)    |
| 3日(土)  | 運動会(3・4・5歳児)              |
| 5日(月)  | 運動会振替休日<br>(4・5歳短時間利用児休み) |
| 8日(木)  | 秋季健康診断(内科健診)              |
| 13日(火) | 安全指導                      |
| 14日(水) | 避難訓練                      |
| 20日(火) | 親子で遊ぼう(2歳児)               |
| 22日(木) | 開園記念日<br>(4・5歳短時間利用児休み)   |
| 23日(金) | バス遠足(4歳児)                 |
| 27日(火) | 親子で遊ぼう(1歳児)               |
| 30日(金) | ぞう組の日(5歳児)                |



## ～幼保小連携交流活動を通して考える、子どもの声～

毎年、7月～8月にかけて、近隣の幼稚園、保育園では幼保小連携活動の一つとして、5歳児クラスの公開保育を実施しています。足立区では、子どもたちの育ちと学びを幼児教育から小学校教育へつなげていくため、平成18年度から幼保小連携活動に取り組み、地域ごとに就学前施設と小学校の関係者が集い、交流活動を行っています。

当園でも8月27日に公開保育を行い、連携校の中川東小学校の先生方や近隣の園の先生方に、日常の様子や5歳児のパラバルーンを使った活動を見ていただきました。その後の協議会では、担任の願いや思い、皆さんとの率直な意見交換をすることができました。

その中で、「自分たちで考えた技を伝え合って、それを受け止めてやってみよう」と形にしていく姿に、担任の先生と子どもたちの信頼関係を感じました」「一人一人の話を丁寧に聞いて受け止めている姿に、子どもたちが安心して話せる環境が大切だと感じました」という感想をいただきました。私は、「この姿は、5歳児になって突然できたものではありません。小さい時から、自分の表情、しぐさ、片言、声、そして言葉を、大人が『この子は何を伝えようとしているのだろう』と丁寧に受け止めてきた、その積み重ねが今の姿につながっているのだと思います」とお伝えしました。

子どもが自分に関わることについて、自分の思いや考えを表すことは、とても大切なことです。それは、言葉を話せるようになってから始まるものではありません。泣く、笑う、手を伸ばす、顔を背ける、じっと見つめる……そんな言葉にならない小さな表現も、その子なりの「伝えたい」の表れです。私たち大人がその一つ一つを丁寧に受け止め、「あなたの思いを聞かせて」と向き合っていく。その積み重ねが、子どもにとって「自分の思いを伝えていい」「ここなら安心して話していい」という経験につながっていくのだと思います。そして、子どもが安心して声を出せる環境をつくることと同じくらい、その声を大人の都合で消してしまわないことも、私たち大人の大切な役割です。

以前、受講した音楽研修で「子どもから出た表現は私たち大人が引き出したもの。引き出した責任を大人がもち、大人の都合で否定しない」という言葉が今でも印象に残っています。子どもの「やってみたい」「こうしたい」という声を受け止め、その表現を次の一歩につなげていく。そんな大人でありたいと思います。



ADACHI CITY



知ると分かる。  
すると変わる。  
SDGs MODEL ADACHI